

子どもの読書活動支援者のための研修会

(県北研修)

絵本作家 梅田俊作・佳子さんの読み語りと講演会

日時：平成24年1月13日(金) 9:30~11:30

場所：桑折町立醸芳小学校

いじめをテーマにした長編絵本「しらんぷり」をはじめ「がまんだがまんだうんちっち」「よーいどんけついつとうしょう」など数々のすばらしい作品の著者である絵本作家梅田俊作さん・佳子さんご夫妻による「読み語り」が醸芳小学校の1・2年生対象に実施されました。

今回の「読み語り」は佳子さんが桑折町出身ということもあり、実現しました。

佳子さんの温かい読み語りで「よーいどんけついつとうしょう」を聞いた後、その作品ができあがった背景となる俊作さんの思い出や熱い思いを聞かせていただきました。

梅田さんの子どもたちへのことばひとつひとつは、やさしく、強く心の奥まで染み込んでくるようでした。

梅田さんの絵本作りの思いや子どもたちへの願い、そして放射線で苦しんでいる福島の復興への熱い気持ちなどを織り交ぜながら「絵本づくりの周辺」という演題で講演をいただきました。

この講演は、子どもたちへの読み読みの後、県北域内で子どもたちの読書活動推進のために取り組んでいるボランティアの方々約60名を対象に行われました。

講演の中で、これから発行される予定の絵本「うわさごと」をスケッチブックに描かれた原画のままで読み語りしていただくなど、参加者はすばらしいプレゼントに大感激でした。

「本と子どもたちを結ぶ」、梅田さんにとっては「絵本作家の思いと子どもたちを結ぶ」大きな役割となる読書ボランティアの方々にも勇気やエールを与えていただいた時間となりました。

今回の「読み語り」「講演会」でお世話になった梅田俊作・佳子御夫妻、そして研修会実施にあたってご協力いただいた伊達市NPO法人夢ネットワークの皆様、会場の醸芳小学校に心より感謝いたします。そして、参加者のみなさんありがとうございました。



1月11日（水）は伊達崎小、12日（木）は半田醸芳小で、梅田さん御夫妻による「絵本作り」を実施しました。



1月12日（木）

半田醸芳小学校

3・4年生



1月11日（水）

伊達崎小4・5年生



『本気で自分で考える、ものを作る』それが自分の力になる』

『失敗をこわがらない』

活動しながら子どもたちに声をかける梅田さんの言葉がとても印象的でした。楽しい活動ありがとうございました。